

# Rosario Quarterly Information



## 広報

# ロザリオ

### 第126号

社会福祉法人  
 ロザリオの聖母会  
 千葉県旭市野中4017  
 Tel (0479) 60-0600  
 ホームページアドレス  
<http://www.rosario.jp>  
 Eメールアドレス  
[honbu@rosario.jp](mailto:honbu@rosario.jp)



『みんなの家』の利用者の有志で結成した太鼓チームです。楽しく太鼓を叩きたいという思いから楽鼓隊と名づけました。

## 目次

年頭所感.....	2	障害者就業・生活支援センターモデル事業.....	9
本会ロゴマーク制定について.....	3	就業センターネットワーク事業.....	9
共同募金会寄付.....	3	ご寄付に感謝.....	10
連載 「司祭の書斎より③」.....	4	新任者紹介.....	10
創立60周年記念式典.....	6	各種表彰者紹介.....	11
障害者週間行事における講演会.....	7	フォトギャラリー.....	12
読売療育賞敢闘賞受賞.....	8	寄付者御芳名.....	15
高萩福祉センターの開設に向けて.....	8	行事予定・お知らせ.....	16

# 年頭所感

理事長 桑島克子

明けましておめでとうございます。

昨年は世界も日本国内も前年に引き続き混沌とし、アラブの春は終息せず新たな難民を生み出しています。

国内では三年間の民主党政権は頻回の首相交代の末、年の瀬に再び自民党に政権を渡しました。今回の選挙では十二の政党が名乗りをあげ、どのような一致点をみつけ国政に参加するの不思議な思いで経過を見ていました。同じ党内でも沢山の派閥があり国政の行先に希望を見いだせるか不安です。近隣諸国との摩擦は緊迫した場面もあり、忍耐強い外交が問われています。過去の大战を教訓に暴走しないことを祈っています。

不幸な事態では一番先に影響を受けるのは光のあたりにくい方々と、今漸く光が差し込んできた利用者の方々です。一昨年の東北大地震と放射能汚染で依然解決されていない諸問題に対して薄まって

いく共感、瓦礫の処理で明らかになる地域自己防衛の強さなど同じ国民同士でも感情的な結論となる人の性に無力感に吸い込まれそうです。社会問題として、笹子トンネルの事故も検査体制が確立し法令順守されていれば防げたかと考えるとき日常業務の中で課せられていく多数の規則は疎かに出来ないかと納得します。学校でのいじめや自殺、保護者による幼いこどもの虐待、短絡的な犯罪など紙面の記事に胸が塞がれる思いに目を背けるだけでやり過ぎしている日常に對して祈りで漸く平静を保っています。

明るいニュースは昨年の漢字が「金」で示されるロンドンオリンピックでの日本人の活躍と山中慎也京大教授のノーベル賞受賞があり、どちらも家族、同僚や先輩に感謝していることが一層感銘を与えました。謙虚さはいつも人に静かな感動を伝えます。

ロザリオの聖母会は昨年法人創

立六十周年を迎え毎年行われている三大事業を記念行事と位置付けて創立に至る経緯と現在に至るまでの歩みをふり返り、本会の基本理念・経営理念の礎を自分のものとした。

今年は新たに再出発の年として光のあたりにくい人々とともに歩みを確かなものとなるよう、職員一同研鑽に努めましょう。

理事長職に就いて一年半が経過し施設・事業所の日常を知る機会を得て、どの施設の職員も利用者の笑顔に導かれてその時間を大切にしていく姿に見学を訪れる人々が感銘を受けている感想文は私自身の実感と同じで引き継がれている歴史を誇りに思っています。更なる上質のサービスには日常の記録の分析や研修会・学会に参加しヒントを得て新しい視点での取り組みも必要になります。障害の原因・症状の基礎的知識にも目を向け経験の積み重ねだけに頼らない現時点での理論的根拠を知ることでも大切です。利用者の方々に對する職員の対応と同じように職員同士のコミュニケーションが出来るよう願っています。相手の立場に

立つて考え「他人からしてほしいと思うことをあなたたちも他人に行いなさい（マタイ七章十二節）」を実行出来れば利用者の平和は一段と向上するでしょう。利用者は言葉には出せないが敏感に空気を察知する能力に優れていることは皆様も知っています。

大切なことは自分自身を良く知ることでしょうか。そのためには本を読むことが役に立ちます。読み放しにせず、読後感を書きとめることです。新聞に載った青少年読後感作品コンクール受賞作品を読むと中高生のしつかりとした考えに日本の未来に希望が湧いてきます。今まで本を読んで感動し、本によって二三日から二週間と差はありますがこの間は些細なことには拘泥しないで穏やかな平和な気分で過ごすことが出来ました。読後感を書きとめ深く掘り下げていけば財産でありえたのに残念です。もし未だ書いていない皆様は是非一冊でも試してみてください。混沌とした現状の中で向かうべき方向が見えてくるでしょう。



# 本会ロゴマークの制定について

法人本部事務局

前号（125号）でお知らせした本会ロゴマークが完成しました。左記がそのマークです。



今号（126号）から表紙の左上にも用いました。これからはパンフレット、バッジ、封筒、レターヘッド、名刺、ユニフォーム、公用車両、旗、看板など色々な場面で使用していきます。使用対象について何かアイデアがあれば皆様もお寄せください。

さて、このマークのコンセプトを制作者である師イエズス修道女会の北爪悦子修道女から頂いています。左記にそれを全文掲載します。

## 社会福祉法人ロザリオの聖母会

### LOGOマークデザインによせて

ロザリオの聖母会は、光のあたりにくい人々とともに歩むVをモチーフに、この度、社会福祉法人創立60周年を迎えられました。

LOGOマークの制作にあたり、先人の方々の神に対する信頼と献身的な働き、また彼女たちを支える協力者との深い絆。

時代の変化に対応しながらも、常にロザリオの聖母会の理念を貫き、求められる目の前の人々のニーズに迅速に対応しようとする各施設の相互の協力体制とその行動力が今のロザリオの聖母会を支えています。

ロザリオの聖母に見守られ、60年連綿と受け継がれたキリストの愛の精神を軸に、未来に向けて更なる輪を広げていく、その思いをLOGOデザインのコンセプトにしました。

キリストの愛の十字架に突き動かされた先人たちの愛のバラ、その愛の輪が多く、協力者の心に受け継がれ濃いブルーから薄いブルーとなつて広がるさまを表わしました。

薔薇の冠を意味するといわれているロザリオ、ロザリオの聖母の取り次ぎにより、ロザリオの聖母会が光のあたりにくい人々Vの光となりともに歩んで行けますように、輪の中にロザリオと入れました。

2012年10月10日

師イエズス修道女会

シスター 北爪悦子

## 絆の力信じる力

### 共同募金会寄付

専務 野口厚司

第23回ロザリオ福祉まつりの目的の一つに挙げていた共同募金寄付について、当日会場に設置した募金箱にお寄せ下さった善意に加えて、法人、施設・事業所のバザー収益から拠出した資金を合わせた20万円を平成23年11月21日、共同募金会旭市会に直接お渡ししました。

ロザリオの聖母会の施設・事業所には共同募金会から毎年たくさんのお配分金を頂戴し、車両や設備の充実に活用させていただいています。社会からわれわれに寄せられた善意に、少しではありますがお応えしたいという思いからこのような形をとらせていただきました。この提案を快くご理解下さった後援会やロザリオ福祉まつり実行委員会、関係のみなさまにご報告と御礼を申し上げます。

連載 司祭の書齋より③

## 「クリスマス」の本当の意味を求めて

東京司教区司祭 ロザリオの聖母会理事 吉川敦

この稿が皆さんのお手元に届くのは、発刊日の1月15日過ぎである。正月の賑いの中でクリスマスはもう話題にもされていかないだろう。毎年繰り返される巻の年の瀬の光景には、12月25日が過ぎると、さつさとツリーや飾りつけを片づけ、正月の準備に追われる姿が目につく。私も日本人としてその気持はよく解るが、「クリスマスを祝ったその心」も師走の雑踏の中に忘れ流されてしまう様で、如何にももったいない。あたかも物品の売り買いのように「ハイ、クリスマス終り、次は正月ね」と。「チョット待って、暫し立ち止って考えてはいかゞ？心の健康は身体の健康の土台ですぞ!!」とね。

以下に神の御子誕生を証言する3人の福音記者を、新約聖書の順番で取り上げる。第一はマタイ、第二はルカ、第三はヨハネである。それでは第一のマタイからみる。ローマ帝国の迫害が終って「主キリストの誕生が典礼において祝われるようになったのは、四世紀初頭の事である。初めは新年1月5日の夜から6日にかけて祝われた」そうである。(小高毅著「父の肖像―古代教会の信仰の証し人―」P・144参照・ドンボスコ社2002刊) マタイの「主のご公現」も新年1月に「主のご降誕」として祝われてきた。ロシアでは今年もこの1月7日がクリスマスであった。また、東京は神田駿河台のニコライ堂(日本正教会)の降誕祭も1月6日夜から1月7日に祝われた。この事実は「クリスマス」が「新年の祭」でもあることを物を

語っている。ちなみに今年のカトリック教会の暦では、1月12日までが降誕節であった。

さて、「公現祭」はわが国では「三王礼拝」や「マギ(三賢王)の礼拝」など、図書館や展覧会などで西洋の絵画に接した方なら、ご存知の事と思う。マタイは「占星術の学者たちが東の方から、星の導びきでエルサレムに拝みに来た」(マタイによる福音書第2章1節・9節参照)と記す。「占星術の学者」と翻訳されている言葉は「博士」とも訳され、原語は「マゴイ」である。かつて世界の覇権を握ったペルシャ帝国のゾロアスター教の祭司階級「マギ」に由来する名である。高度に発達した天体観測と占星術の専門家である当時の知識人達であった。その彼らが「ひれ伏して幼子を拝み、宝の箱を開けて、黄金、乳香、没薬を贈り物として献げた」(2の11)のである。これらの贈物は「神のみ子の現存への感謝のしるし」だ。これが「クリスマス・プレゼント」の始まりである。

聖書はたんたんとか語っていないが少し想いを馳せれば、この学者達の姿の中に、私たち人間の

神の御前でのあるべき姿勢を見る思いがする。

ここに専門家の考察を紹介したい。

「彼らは地図もない砂漠をはるばるやって来ました。このことは眞理の探究が険しいということを示象徴しています。これは、信じられないほどの忍耐と、誠実さの物語です。羊飼いたちは、たやすく「よい知らせ」を受け取りました。けれども、この遠方の学者たちは、たいそう苦労して、多くの時間と労力を費やして、たゞの可能性を頼って来ました。遠い東の国では、彼らはキリストのことなど何も聞いたことがありませんでした。けれども彼らは研究していて、いたいこの星の意味は何なのだろうと思索しました。そして、その神秘の謎を解こうと実際に行動を取ったのです。そうして彼らは、求めてきたものを見出したのでした。」(シスター・ヴェンディ・ベケツト著本多峰子訳「私たちの間のイエス―祈りの芸術・写本絵画でたどるキリストの生涯―」P・48・新教出版社2001刊)

以上簡単にマタイのクリスマスに触れた。



次に第二の視点ルカを見よう。私たちの知っているクリスマスマスのイメージはルカを典拠よりどころにしている。

彼の書き出しに注目である。「そのころ、皇帝アウグストゥスから全領土の住民に、登録をせよとの勅令が出た」(ルカによる福音書第2章1節)。

このテキストの情報量は計り知れない。一つ一つの言葉に注釈を必要としているからである。今は一語に絞る。それは「アウグストゥス」である。これは人名ではない。ローマ帝国初代の皇帝カエサルシザルの養子オクタヴィアヌスの尊号で「いと尊厳なる者」神に等しい絶対権力者」の意である。その対極に「無力な幼な子イエスの誕生」が配されている。いかにも皮肉である。ルカはこの事実を直視し画かいている。「泊まる場所」なく、動物のエサ場である床に置かれた「飼葉桶」が寝床である(2の7)。家畜の食事(パン)場という最も低きにお立ちになっていらっしやる御子は、万人一人ひとりの心に問いかけていらっしやる。この事態を「理解出来アンダースタンドますか」と。ルカの師聖パウロの「キリストは自分を無にして、しもべの身分

になった」(フィリップ2の7)という古い「キリスト賛歌」を思い出す。

そこに秘められた意味を考えよう。

かつて阪神淡路大震災の災害復旧の中で、「関わりの力を再発見」と語った、わが友松浦信行神父の言葉を重ねたく思う。「全能の神が幼な子の姿で私たちに期待し続ける姿勢は、私たちと関わりを深める中で私たち自身の『力強さを引き出すこと』なのでしよう」と。(『聖書と典礼』2004・12・25号参照)

幼な子の無力さや弱さこそ、心ある人にみんなの力を引き出すためのエネルギー発信基地となるのだという逆説である。

この度の「3・11東日本大震災」の復興力の原点にも同じことがいえるだろう。

さて、私の幼稚園園長時代に体験した「クリスマスマスを奉祝お遊戯会」に言及したい。そのハイライトは年長児の「聖劇アデステオステ」であった。園児達が幼な子イエスを安置した厩うまやの前で奉納するこのドラマは、子供の心がよく現われて来て、まさに園舎が、聖なる空間に変貌す

る刻ときであった。もちろん、子供の力を引き出すためには、先生方一同、一つの心になっての慎重な準備が欠かせない。一番の難関は配役の人選であった。ここを突破するコツは、「園児達の自発性に委ねることだ」とベテラン教師から教えられた。子供の心に宿る責任感の強さには「目からウロコ」であった。自分が手を挙げたとなると本当に真剣に取り組む姿には神々こわごわしささえ感じるものだ。

「聖劇」のクライマックスシーンを見よう。

「トントントン、泊めて下さい。ご主人さま!!」

質素な身形みなりをした身重なマリアとやさしいヨセフの懇願する姿に、明かりの消された満員の会場席が、静けさに包まれるのは驚きである。

何軒訪ねても、断わりの返事と宿屋の主人たちの冷い視線。「ガタン・ピシャン」と扉の閉まる音。

ライトに照し出された二人の悲しそうな表情。見入る園児達と保護者達の共感の様子が伝わってくる。

「厩」をやっと借りて床に置かれた飼葉桶の中に「御子イエス」が横たえられる。

客席の照明が一斉に点燈される

と、出演者全員が舞台上に登場して「聖歌アデステ」の歓喜の大合唱である。ラテン語を上手に歌いこなす園児達の顔が誇らしい。先生方の労苦が報われ、園舎も感動の声をあげているかのようであった。これは過去の思い出というわけではない。今年(2013)も先生方からカードが届いた。要約すれば「聖劇アデステ」無事に奉納。「様々な出来事に喜び、楽しみ、苦戦する日々ですが、子ども達の力に支えられて、神様からの恵みに感謝をして歩んで参ります」と。

最後に第三の視点、ヨハネをみる。

「言は肉となつて、わたしたちの間に宿られた。わたしたちはその栄光を見た。それは父の独り子としての栄光であつて、恵みと真理とに満ちていた」(ヨハネによる福音書第1章14節)。

たった一節の中にヨハネはクリスマスの本質を描いている。「永遠の神の御言葉は弱さをもった人間となった」。「肉」とは聖書では「弱さを持った存在」の意だ。このお方は、ベトレヘム(「パンの家」の意)で生れ、死の迫る中でご自分の体をパンとして、弟子たちに分

ち与える型を定めた。「最期の晩餐」である。その記念が「キリストのミサ」すなわち「クリスマス」だ。だから「クリスマス」の語義には「12月25日が誕生日である」という意味は、全くない。

「どういう意味での誕生か」と問うなら、「神はその独り子をお与えになったほどに世を愛された」(ヨハネ3の16)ので、「人間に食べられるパンとなって私達の内に誕生することを願ひ、それを実行された」という意味においてである。

以上、舌たらずだが、古くから伝わる誠実なキリスト者の実践が生んだ祈りで結びたい。

「キリストは  
手を持っていません。  
いま、彼が仕事をするのに  
私たちの  
手だけを持っています。

キリストは  
足を持っていません。  
いま、人のところへ  
行くために  
私たちの  
足だけを持っています。

キリストは  
唇を持っていません。  
いま、福音を告げるために  
私たちの  
唇だけを持っています。

私たちは、すべての人が  
いまなお読むことの  
出来る聖書です。

私たちは、  
ことばと行いにおいて、  
神の最後の呼びかけです。」

(作者不詳「14世紀の祈り」より)

本会のモットー「光のあたりに  
くい人々に光を」は、この祈りの  
実践者によって、「目の目」を見る。  
私の手・足・唇は誰のため何のた  
めに役立っているかと自問自答し  
たい。

無力な人々の側に立つ幼な子イ  
エスよ、あなたのうちに新たな  
希望の道を見い出す年となりま  
すように。アーメン。

## 創立60周年記念式典

法人本部事務局

昨年10月10日、創立60周年を迎えた本会はこれを記念する行事の一つとして、創立記念式典を開催しました。永年勤続職員に対する表彰など、例年の創立記念日行事のプログラムに加えて①外部理事、監事、長期在籍評議員への感謝状贈呈、②創設者と深い関わりのあるカトリック教会の東京教区(東京都及び千葉県)総責任者である岡田武夫大司教を講師として招聘したこと、③講演後に茶話会を設



けたことが今回の特徴でした。

記念講演会では、大司教の著書「死から命へ」を下敷きにして、「カトリックとは何であるか」、「キリスト教とは何であるか」について、



他宗教との比較、歴史的背景、小説からの引用、聖書の解説など具体例を基に分かりやすい説明がありました。

本会名称の由来である「ロザリオ」という言葉の原義は「薔薇の冠」と言うことで、それが転じてカトリック信者が祈りをするため

の数珠を意味するようになったと言います。

数珠の一つひとつの珠を薔薇の花に例えて、その薔薇が集まって数珠の冠を造り祈りを捧げる、これがロザリオの真意だそうです。

また、本会の創立記念日である10月7日は、カトリック暦の「ロザリオの聖母の記念日」に当たり、1517年レパントの海戦でイタリア、スペインなどキリスト教諸国連合艦隊がオスマントルコ帝国海軍に勝利したことを記念して制定されたそうです。

最後に、講演会後は茶話会を催し、受賞者、招待客の諸氏、また職員が歓談し、旧交を温めて楽しいひと時を過ごしました。



# 「障害者週間行事における講演会」

中核地域生活支援センター 海匠ネットワーク 所長 吉野智

本年の障害者週間行事は、去る12月7日に千葉県立東総文化会館にて行われました。本年は、「障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律」、通称、障害者虐待防止法が10月に施行されましたが、改めて、障害ある人の権利について考える機会としたという意向で、記念講演は、毎日新聞社論説委員である野澤和弘さんにお話しをいただきました。



した。この数年、障害者に係る制度はめまぐるしく変わってきましたが、制度だけでなく「障害者」の社会的概念や彼らを取り巻く社会状況が大きく変わろうとしているのではないか、その中で、「障害のある人もない人も暮らしやすい街に」していくためには、という切り口でお話しをされました。

障害者虐待という深刻な問題については、そもそも障害ある人の権利について、私たちは真剣に考え、真剣に行動しているのか、過去の許しがたい虐待事件だけではなく、日常生活に埋もれている権利侵害に目を向けているのか、障害者虐待防止法が施行された今だからこそ、改めて原点を見つめ直さなければいけないのではないかと、障害があってもなくても、みんな幸せになりたいと思っています。このようなメッセージを具体的な実話に基づいて届けていただきました。

会場は、ロザリオの聖母会の職員以外にも、地域から障害ある当



事者、家族、市行政、障害福祉関係者などで盛況でした。野澤さんのお話しは、実践的で且つ重要なメッセージを示唆していただけなので、どの立場の人であっても、ここに響いたのではないでしょう。障害のある人もない人も・・・この思いを実践していくために、野澤さんのメッセージを私たちは強く受け止めていきたいと思えました。会場にお越し頂いたみなさん、そして野澤さん、本当にありがとうございました。



# 「第8回読売療育賞敢闘賞受賞」

聖母療育園

平成24年10月4・5日にかけて神戸で行われた第23回重症心身障害療育学会学術集会において「口腔乾燥度を指標にした口腔ケアへの取り組み」という演題を発表し、第8回読売療育賞敢闘賞を受賞しました。

今回の取り組みは聖母療育園歯科係とリハビリ係で協力し、高齢化に伴う誤嚥性肺炎予防の一環として口腔リハビリ活動（もぐもぐクラブ）を実施したことから始まりました。

口の乾燥が誤嚥性肺炎の原因の一つであることに注目し、口の乾燥の原因になると考えられる歯の数やかみ合わせ、口の筋肉の状態、身体機能など14の観察項目と口中の乾燥の度合いを測る口腔水分計で計測した数値との関連性と活動時に実施している唾液腺マッサージと舌刺激の効果について調べました。

口の中の乾燥は、唾液の状態と舌の動きが関係し、唾液腺マッサージや舌刺激によって改善すること

がわかりました。

今後は活動を続けていきながら、活動の効果的な時間帯や持続時間、利用者個人での手技効果の違いの理由なども分析していき、これからの活動に活かしていきたいと思っています。

今回はみんなでの取り組みが賞という形になりとても光栄に思います。今後も利用者がおいしく楽しく食事ができるように職員全員で支援していきたいと思えます。



# 高萩福祉センターの開設に向けて

高萩福祉センター開設準備室 室長 杉田明

平成25年度に高萩福祉センターが、いよいよオープンします。高萩福祉センターの準備は、平成22年9月香取地域福祉づくり検討会から始まりました。ほぼ時を同じくして地元特別支援学校に通う重度重複障害児の保護者会から、卒業後に安心して通える地域生活の場「日中活動施設に関する要望書」が香取市に提出されました。そして、平成23年4月、廃校となった市内の小学校を有効活用し、地域福祉の拠点とすることを掲げた高萩福祉センター構想がまとまりました。

本構想に基づき、香取市との協議を繰り返し、小学校の建物の無償譲渡と敷地の無償貸与という形で施設整備を進めていくことになりました。同年6月には法人内に高萩小学校検討委員会が発足、7月の定例理事会において改修工事の計画が承認されました。その後、具体的な工事計画を検討し、平成24年4月には、高萩福祉センター開設準備室が佐原聖家族園内に設置され、本格的な準備が始ま

りました。現在は、工事業者も決まり、急ピッチで工事が行われています。

工事が完了次第、全ての障害者を受け入れることのできる生活介護事業所、香取障害者支援センター、香取就業センターで構成される予定です。高萩福祉センター構想から約2年の時を経て、いよいよ現実のものとなります。

高萩小学校は地域の皆様に愛され60年の歴史を積み重ね、福祉施設へと生まれ変わります。歴史の重さを感じながら、「ありがとう」がこたまする施設へと、法人内はもとより地域の皆様と一緒に、一歩ずつ歩みを進めていこうと思えます。





# 千葉県委託事業

## 「障害者就業・生活支援センターモデル事業」について

障害者就業・生活支援センター 香取就業センター 主任 立花沙由里

平成24年10月、「障害者就業・生活支援センターモデル事業（以下、モデル事業）」を千葉県より受託することができました。全国的には千葉を含めて埼玉、鳥取、島根の4県がこの事業を実施するそうです。

このモデル事業の目的は、一般就労を目指す方たちが就労系サービスを利用したくても、あるいは就労アセスメントを受けたくても地域に受け皿（就労移行支援事業所等）がない場合、その代替機能を障害者就業・生活支援センターが果たせるかどうかを検討することです。つまり「働きたいと希望する方はできるだけ社会で働く」また「就労系サービスが必要な方には必要とするサービスを」ということを原則としつつも資源が不足する地域があるので、そこでの就労アセスメントやその後の相談

支援事業者との協議等にかかる課題を整理、検討することが目的とされています。

平成23年7月に厚生労働省が全国の市町村に調査を行ったところ、就労移行支援事業所等によるアセスメントが困難とする市町村が62・6%あるという実態が浮かび上がりました。そこで、全国的に設置が整いつつある障害者就業・生活支援センターがその機能を肩代わりすることができないかとの発案からこのモデル事業が行われることになりました。

一方で、平成24年4月からのサービス等利用計画の作成対象者拡大に伴い、相談支援事業者が就労系サービス利用希望者の計画作成を担当するにあたり、就労に関するアセスメントの実施や評価が求められている現実もあります。

香取就業センターは開所して2

年が経過しようとしています。

かねがね一般就労を希望する方々の働く力をより引出すためにも就労アセスメントが円滑に行われるような地域創りが必要だと感じていました。したがって、今回、このモデル事業を受託できたことは、地域にとつてのチャンスでありチャレンジでもあるととらえており、早速、8名の方のアセスメントに取り組んでいます。また地域に「障害者就業・生活支援センターモデル事業連絡会」を立ち上げて、関係機関の皆様と連携させていただきながら就労アセスメント体制についての協議を繰り返しています。

この事業が全国的に制度化されていくために千葉県香取圏域での実践がお役に立てるよう、また、一人でも多くの皆さんが「働きたい」という希望を叶えられるよう精一杯努力したいと思っています。

# 東総及び香取就業センター

## ネットワーク事業について

障害者就業・生活支援センター  
東総及び香取就業センター 所長 辻内理章

東総及び香取の両就業センターにおいて、本事業を千葉県から受託しました。この事業は障害のある方の就労支援を効果的に推進するために、就労支援におけるネットワークの構築を行っています。

また、各機関（ハローワーク、障害者就業・生活支援センター及び特別支援学校等）が連携して、情報の共有を図りながら、①組織的な連携を強化する事業、②人的な連携を強化する事業、③人材育成に関する事業、以上3つの事業を柱として推進しています。具体的には海匝圏域内において研修会などを実施しています。



# ◆ご寄付に感謝◆

## 24時間テレビより マイクロバス寄贈

(海上寮バス)  
海上寮療養所

この度、東日本大震災・被災地支援の一環として、日本テレビ「24時間テレビ」チャリティー委員会から、本会にマイクロバスが贈呈されました。

贈呈された車両は、本会の海上寮療養所(精神科病院)が毎日運行している送迎バスとして活用させていただきます。この送迎バスはJR旭駅(一部JR飯岡駅経由)と本会(千葉県旭市野中)とのあいだを、1日10往復しております。現在使用している送迎バスは老朽化や走行距離も進み、昨年はエンジントラブルにてエンジンをオーバーホールして運行しております。利用される方は、当院への外来通院、本会が運営する通所施設等へ通う方、そのご家族、ボラン

ティア、近隣にお住まいの方などさまざまです。運行は安全第一に行っておりますが、この度の新しいマイクロバスの贈呈でより安全で快適な運行が可能となり、利用される方々も大変よろこんでおります。

贈呈式は、12月5日(水)に日本テレビ内で行われ、本会の桑島理事長が贈呈を受けました。

「24時間テレビ」等にご協力賜りました皆様、そして募金をしてくださいました全国の皆様に謹んで感謝の意を表すとともに、厚くお礼申し上げます。

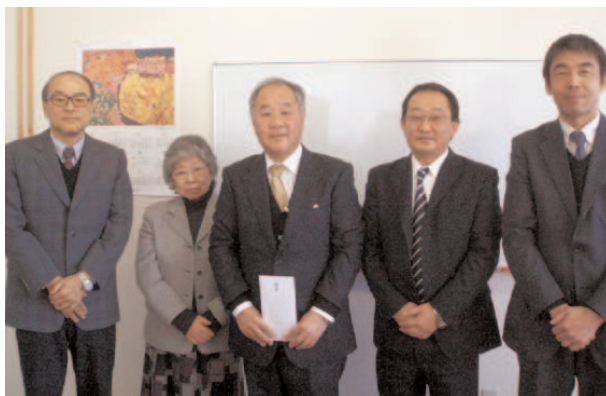
本当にありがとうございます。

## 千葉興業銀行 ともしびの会より

ワークセンター 所長 齋藤惣一

12月13日、ワークセンターでは千葉興業銀行ともしびの会様より

ご寄付をいただきました。この寄付金は、千葉興業銀行全行員の皆さまの互助組織とお聞きしました。



当施設では、東日本大震災の影響で第1作業棟の傾斜や雨漏り等で、利用者の皆様にはご不便をおかけすることがありました。しかし、この度第2作業棟の増築工事が決まり利用者の皆さんへのサービスの向上が実現できると確信いたしました。

ともしびの会の皆様よりご寄付をいただき、大勢の方々に応援い

ただけることで心が温まり、力が漲ってまいります。  
千葉興業銀行全行員の皆様に、心より御礼申し上げます。

## 新任者紹介

支援員



高木 まなみ

いつも利用者さんに優しく、明るく積極的に仕事に取り組んでくれています。趣味は料理をする事です。

支援員



若梅 浩美

老人ホームで働いた豊富な経験を活かし頑張ってくれています。趣味は手芸をする事です。

支援員



大八木 俊

海上寮療養科より職員としてみんなの家喫茶ひまわりを担当することになりました。若さで頑張っています。

## みんなの家



ロザリオの聖母会平成24年度永年勤続表彰

勤続20年

田宮 民子  
 鳴田 文江  
 石橋 敏雄  
 笈川 たか子  
 日高 好規  
 山中 宗大

勤続10年

一 條 加代子  
 石 毛 敦  
 伊 藤 多美子  
 伊 東 京子  
 越 川 直子  
 林 勝 己  
 小 池 節子  
 加 瀬 勝正  
 庄 司 俊介  
 菅 井 健二  
 稲 野 正樹



全国社会福祉協議会会長表彰

林 ミオ子

千葉県社会福祉協議会会長表彰

鳴田 文江  
 山中 宗大  
 石橋 敏雄  
 笈川 たか子  
 野中 猛夫  
 日高 好規

ボランティア感謝式受賞者

平成24年度ボランティア感謝式の受賞者に、賞状と、ささやかな記念品をおくらせていただきました。受賞者は次の方々です。

- ◆ 高山 正代 様
- ◆ 鏡 味 絹子 様
- ◆ のりこ美容室 様
- ◆ 守 部 泰子 様
- ◆ 佐久間 登代子 様
- ◆ 中 沢 豊子 様



ご協力ありがとうございました。

- ◆ 越 川 豊 様
- ◆ 南せい子・美優・優依 様
- ◆ 旭遊技場組合 様
- ◆ 黒 潮 会 様

並 木 満 枝  
 瀬戸山 富 男  
 鈴木 百合子  
 飯 島 能 子  
 加 瀬 弘 子  
 佐 藤 弘 子  
 野中 猛夫  
 日高 好規



▲聖マリア園  
「私のサンタ姿どう？」

# Photo Gallery



▲聖マリア園  
「唐揚げ美味しい～」



▲聖マリア園  
「クリスマス会楽しい～」



▲聖家族園  
「今日はクリスマス会♪」



▲聖家族園  
「自分で育てたお芋おいしいね。」



▲聖家族作業所 忘年会～ありがとうの想いをこめて…～  
「みんなで一生懸命、歌いました！」



▲聖家族園  
「鈴の音、きれいでしょ？」





▲聖家族作業所 忘年会～ありがとうの想いをこめて～  
「二人そろって、ハイ！チーズ♪」



▲聖家族作業所 忘年会～ありがとうの想いをこめて～  
「音楽クラブの発表中です！」



▲みんなの家  
「いただきます～す！」



▲みんなの家  
「忘年会幹事、がんばります！」



▲佐原聖家族園  
「豪華な食事！どれから食べる？」



▲佐原聖家族園  
「私、今日はサンタクロース♪」



▲佐原聖家族園  
「ガチャピンと、ハイ！ポーズ！」



▲佐原聖家族園  
「コーンスープ、温まるね。」





▲聖母療育園  
「犬吠ホテルで食事と足湯を楽しみました♪」



▲聖母療育園  
「養護学校のきらら祭に参加しました♪」



▲聖母療育園  
「おいしそうなおせちだよー♪」



▲聖母療育園  
「後ろのクリスマスツリーはみんなで作ったよ♪」

～市立習志野高校吹奏楽部によるクリスマスコンサートの光景です～  
(聖母療育園・聖マリア園・聖家族園)





# 寄付者御芳名

平成24年  
9月28日  
〜  
12月30日

角田満枝様 石毛義夫様 木下美恵様 大塚八重子様 小原明香様 藤原基市様 東西公市様 中川公市様 玉川公市様 高橋よし博様 沢田隆男様 丸山利行様 五十嵐利行様 岩井光雄様 長田幸修様 富田繁修様 林君繁修様 浪川君繁修様 大野柳江三様 伊藤朝幸様 越川朝幸様 田中幸子様 花沢美佐子様 花沢商店様 (福)九十九里ホーム 理事 井上峰夫様 (株)江東微生物研究所 様 (株)メデイセオ八日市場 様 高橋董様 山口朝子様 金谷かをる様 林あゆみ様 豊田奈央美様 伊藤正子様 飯島好子様 向後良子様 松本つる様

河辺真宏様 山下陽夫様 岩本逸隆様 滝口頌子様 石関藤敏様 斉藤満子様 伊藤淳夫様 宇井秀夫様 菅原光枝様 菅原光枝様 大久保弘一様 江波澤一様 相澤昭子様 郡司順子様 工藤順子様 齋藤洋枝様 家藤明子様 鈴木敏子様 鈴木敏子様 伊藤佳枝様 尾形美枝様 伊藤良子様 松井匡弓様 越川真奈津美様 石毛久子様 鎌形重子様 堀越幸子様 舟見幸子様 田中葵子様 林幸子様 村田幸子様 大関幸子様 工藤幸子様 山崎幸子様 兵頭幸子様 山本恵美様

大網由貢様 林焯興様 江焯興様 聖家族作業所 様 ヒゲタ醤油(株) 様 ヤマサ醤油(株) 様 岩田進二様 早川しず子様 江川栄子様 久保満典様 飯田直正様 田中絹子様 森正美様 菅谷英蔵様 平山義蔵様 吉田政男様 君塚菊五郎様 菅谷敏博様 大木正明様 柴田文雄様 工藤た多子様 加藤八千代様 前藤忠勝様 伊藤勝治様 玉造和夫様 太田義人様 吉田弘美様 高安弘文様 西嶋利文様 長嶋義夫様 平野忠雄様 山本金治様 舟戸一様 常世勇様 柴田幸雄様 高木みよ子様 小澤さわ子様 小嶋和子様 鶴岡定子様

下川静江様 聖心女子学院 五月会 様 長嶋義夫様 小池すみ江様 千代原千嘉様 大和田義郎様 松崎圭子様 伊藤好子様 (株)石毛ガラス店 代表取締役 石毛英一様 小宮和彦様 芳賀信雄様 高橋順子様 佐藤敏雄様 石毛美帆様 大八久予様 石毛幸茂様 伊藤茂様 ビューティー か道 様 菅谷ちやう 様 関文子様 石橋和子様 遠藤ちよ 様 宮内章 様 新川美男様 大森律子様 高木代志子様 守部泰子様 五十嵐明男様 赤松カオリ様 佐久間登代子様 伊藤美加様 永山浩平様 甲賀秀雄様 宮川深雪様 柴川香織様 宮沢節久様 加瀬久様

市根造様 下根屋様 旭市長様 インテリア謙光 加瀬謙一様 服部紘一様 千葉県社会福祉事業団 様 阿部建設(株) 様 阿部典義 様 阿部建設(株) 代表取締役 大山吉男 様 パラメディカル(株) 様 琴礼会 すずらん琴の会 様 大正琴 保科礼子 様 日成シート 実川昭男 様 大利根旭出福祉園 様 小林正幸 様 田中正二 様 (株)ダイユー恒産 様 にじと風 様 田中長五郎 様 フルヤ牛乳 富浦販売店 様 旭市社会福祉協議会 様 香取市長 様 米本弥栄子 様 アルファ工房 様 NPO法人 あおぞら 様 片山肉店 様 ほほえみ会 平野秀子 様 石橋競 様 森永牛乳新喜販売所 様 野口厚司 様 佐々木日出男 様 小林キクノ 様 高野丈夫 様 小嶋昭三 様 石井幸子 様 日高好規 様 黒崎弘康 様 中曾保子 様 芳賀信雄 様 高橋圭子 様

NPO法人 香取の地域福祉を考える会 理事 中塚博勝 様 井上創 様 千葉県知的障害者福祉協会 通所更生部会 様 木村潔 様 向後文司 様 福実のりの会 理事 森下正彦 様 加瀬和子 様 NPO法人 ぽびあ 理事 関口幸一 様 石井康規 様 カトリック習志野協会 加瀬さく子 様 椎名泰敏 様 みんなの家 父母会長 嶋田みつ枝 様 千葉大学医学部 歯科口腔外科学教室 宮澤均 様 伊藤房吉 様 谷裕子 様 櫻井ふく 様 聖心会ヴィラフジ 様 Dステーション旭店 店長 田原勲 様 八日市場ガス(株) 様 聖心女子学院生徒一同 様 山下知子 様 (株)国際エアージェー 代表取締役 大山吉男 様 (株)ドーシス 様 鈴木牧子 様

# 《お知らせ》

平成24年11月末をもちまして、ダンボール・古新聞の回収を休止させていただきました。

これまでご協力いただきました皆様、長らくのご愛顧本当にありがとうございました。

## 就労継続支援B型事業所 ワークセンター

### 行事予定

- 25. 1. 4 新年あいさつ会、経営会議
- 9 経営会議、対策本部会議、総合安全対策委員会
- 11 クリーンデー
- 15 中間管理職育成研修
- 16 法人運営会議、経営会議、地域生活支援会議
- 17 通所事業所連絡会議
- 23 理事会
- 2. 5 入職2年目研修
- 6 経営会議、対策本部会議、総合安全対策委員会
- 12 入職3年目研修
- 13 経営会議
- 19 入職4年目研修
- 20 法人運営会議、経営会議、地域生活支援会議
- 23 入職者事前研修
- 26 管理職研修、入職5年目研修
- 3. 5 入職1年目研修
- 6 経営会議、合同研修会（研究発表会）
- 8 クリーンデー
- 12 中間管理職全体研修
- 13 経営会議、対策本部会議、総合安全対策委員会
- 19 中間管理職育成研修
- 21 法人運営会議、経営会議、地域生活支援会議、通所事業所連絡会議
- 27 理事会、評議員会
- 28~30 就職内定者研
- 4. 1 平成25年度辞令交付式、幹部職員顔合わせ会

### ボランティア募集のお知らせ

ロザリオの聖母会では、施設や利用者のために常時ボランティアのご協力をお願いしています。

お願いのできる方は是非、ご連絡ください。ご協力をお願いします。

問い合わせ

TEL 0479(60)0600

(担当 仲條)

### 職員募集のお知らせ

障害児者医療に携わる看護師を募集しています。

◆随時面接を行っておりますので、本部総務課までご連絡ください

TEL 0479(60)0600

(担当 採用係)

本誌のバックナンバーをロザリオウェブサイトに掲載しています。  
(<http://www.rosario.jp>)

医療 療養施設  
海上療養所

就労継続支援B型事業所  
ワークセンター

地域生活支援センター  
友の園

医療型障害児入所施設・療養介護事業所  
聖母療育園

生活介護・児童発達支援・放課後等デイサービス(重点)  
聖母通園センター

児童発達支援・放課後等デイサービス事業所  
ふたば保育園

地域生活支援センター  
ロザリオ発達支援センター

障害者支援施設  
聖マリア園

障害者支援施設  
聖家族園

障がい者の就労促進事業所  
みんなの家

障害者就業・生活支援センター  
東総就業センター

生活介護事業所  
聖家族作業所

共同生活介護・共同生活援助事業所  
グループホーム支援センター

高齢者支援事業  
ロザリオ高齢者支援センター

通所介護・介護予防通所事業所  
ロザリオ訪問介護事業所

旭市相談支援センター  
旭市相談支援センター

旭市相談支援センター  
旭市相談支援センター